

2020年度 EA21 環境経営レポート

(運用期間:2020年4月~2021年3月)





【目次】

1. 環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1) 経営理念 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 事業概要及び取組の対象組織・活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3. EA21実施体制 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	5
4. 環境経営目標(全工場取りまとめ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
1) 二酸化炭素排出量総量の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5. 環境経営計画とその取組結果	
1) 二酸化炭素排出量の1%削減(本社)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 8~12 13~17
2-1) 産業廃棄物のリサイクル推進(本社) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18 19 20
2-2) 一般廃棄物排出量の1%削減(本社) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18 19 20
3) 水使用量の現状維持(本社) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21 21 22
4) グリーン購入の推進(本社) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22 22 22
5-1) 工場周辺の清掃活動(本社) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23 24 25
5-2) 地域の活動に参加(本社) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23 24 25 26
6) 化学物質の適正管理(川下工場) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
6. 環境関連法規等の遵守状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28~29
7. その他の活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
8. 環境責任者による2020年度の工場全体の評価 ・・・・・・・	30
9. 代表者による全体の評価と見直し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
10. 次年度の取組 ••••••	32~33

1. 環境経営方針

【基本理念】

当社は、深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。

当社の事業活動における環境負荷の低減や社会への貢献を目指し、継続的改善を行い、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を進めてまいります。

【行動指針】

- 1. 次の事項に取り組みます。
 - 1-1. 車両のエコドライブの推進や電気の省エネルギーの推進で二酸化炭素排出量を削減する
 - 1-2. 産業廃棄物及び一般廃棄物の削減
 - 1-3. 水使用量の現状維持
 - 1-4. グリーン購入の推進
 - 1-5. 工場周辺の清掃活動の推進
 - 1-6. 化学物質の適正管理
- 2. 関係する環境関連法規を遵守します。
- 3. 地域貢献活動の推進

2020年 4月 1日 中山化成有限会社 代表取締役 谷口 知幸

1. 1) 経営理念

お客様(得意先及び仕入先)には安心を。従業員にはやりがいを。

- ① 最高の商品を、最高の形でお客様へ提供します。
- ②何事にも感謝の心を忘れず、心から「ありがとう」といえる人間になります。
- ③ 誰もが自分の意見を発言でき、自律した人間集団になります。
- ④ 常に前を向き、苦難・逆境を乗り越えられる強い組織(人間)になります。

2. 事業概要及び取組の対象組織・活動



■組織の概要

(1)名称及び代表者名 中山化成有限会社 代表取締役 谷口 知幸

(2)所在地

【本 社】大分県日田市大字川下133-6 【日高工場】大分県日田市大字日高2308-1 【川下工場】大分県日田市大字川下72-1

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:日高工場 生産管理係 生産管理グループ GL 三坂 桂介

担 当 者:総務部 総務係 江田 彩連 絡 先: Tel 0973-24-5228

(4)事業内容

本社:ウレタン加工品の製造・販売

日高工場・川下工場:車両用シートの縫製及びそれに準ずる製造

(5)事業の規模

【売上額】 2020年度…19億7939万円

【その他】

	- 1001 /		
	本 社	日高工場	川下工場
社員	5名	33名	17名
パート	0名	4名	3名
技能実習生	0名	6名	0名
派遣社員	0名	13名	14名
延べ床面積	51 m ²	660m²	897 m ²

総合計95名

※2021年4月1日時点

- (6)事業年度 4月~翌3月
- (7)法人設立年月日 1978年 5月
- (8)資本金 1,000万円

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:中山化成有限会社

関連事業所:本 社

日高工場川下工場

対 象 外:無し

活 動:本社…ウレタン加工品の製造・販売

日高工場・川下工場…車両用シートの縫製及びそれに準ずる製造

3. EA21実施体制



■役割分担表

	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ
	・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する
代表者	・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する
10.20日	・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する
	・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
	•経営における課題とチャンスを整理し、明確化する
	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画を作成する
	・3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を確認する
	・上記の結果を代表者に報告する
	・1ヶ月に1回開催し、社内調整、対応を検討する
EA21委員会	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・ 管理を行う
	・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長(工場長)	・環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する
土风木貝	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環境経営目標



- 注1)項目6について、本社は化学物質の使用が無い為、除外しております。
- 注2)項目1 二酸化炭素排出量削減において、2019年度より購入電力の排出係数は、0.462kg-CO2/kwh(2018年度 (株)エコア)を使用しております。
- 注3)項目1について、日高・川下工場の灯油・軽油使用量は、目標達成が続いた為、ガソリン使用量は対象車を変更した為、2020年度に基準値を変更しております。
- 注4)項目1について、電気使用量は、昨年度の生産台数実績から1台当たりの電気使用量を算出し、今年度の予定台数に反映し、2020年度より毎年、基準値を変更します。
- 注5)項目2-2について、目標達成が続いた為、2020年度に基準値を変更しております。
- 注6)項目1、項目2-2について、ウレタン部門分社化の為、数値目標は立てず活動を行います。
- 注7)項目4について、グリーン購入に関する社内規定…「エコ商品と比較したときに価格が10%以上高くなる場合は、 エコ対象外商品を購入する。」

4.1) 二酸化炭素排出量総量の推移



二酸化炭素排出量についての環境目標は、原単位表示にしている為、二酸化炭素排出量総量について下記に表示します。

(単位:t-CO2)

	2018年度	2019年度	2020年度
本社	-	_	_
日高工場	84	73	80
川下工場	100	82	101
合計	184	155	181

5. 環境経営計画とその取組結果

1) 二酸化炭素排出量の1%削減

本 社

 項目
 目標の目安(指標)
 実績値
 達成率(%)
 達成状況

二酸化炭素排出量

- ① 電気使用量
- ② 灯油使用量
- ③ ガソリン使用量

※ 同一建物内でウレタン部門を"やわらか製作所㈱"と分社化し、 環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

	取組目標		活動項目	
			事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する	0
	1 電気使用量の1%削減	2	食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	0
1		3	夏季における軽装(クールビズ)の推進	0
		4	OA機器(パソコン)は省電力設定にする	0
		5	コンプレッサーのエアー漏れ点検	0
9	灯油使用量の1%削減	1	ドアや窓を開けっ放しにしない	Δ
	2 以他使用重约 % 削減	2	重ね着をする(ウォームビス推進)	0
2	ガソリン使用量の1%削減	1	エコドライブ等、運転方法の配慮を励行する	0
0	カノソン1次円里VJ170円/戦	2	配送(社用車)の無駄をなくす	

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

1. サーキュレーターを使用して、冷暖房の空気を循環させた

2. 感染症対策の換気以外、ドアや窓の開けっ放しがないように協力して取り組めた

判定

0

◆取組結果への対策

- I サーキュレーターを使用し、部屋の空気を循環させる。
- Ⅲ 軽装(クールビズの推進)、重ね着をする(ウォームビス推進)
- I.コンプレッサーを使用し、部屋の空気を循環させる。 対策:コンプレッサーを設置する。

サーキュレーターを設置





II. 軽装(クールビズの推進)、重ね着をする(ウォームビス推進) 対策: クールビズ推進、ウォームビス推進ポスターを掲示。

クールビズ推進ポスターを掲示





日高工場

責任者:三坂GL 担当者:中野•諌山

項 目 目標の目安(指標			目安(指標)
二酸化炭素排出量		314	kg-CO2/稼働日数
1	電気使用量	68,057	kWh
2	灯油使用量	610	L
3	ガソリン使用量	3,600	L
4	軽油使用量	13,800	L
	稼働日数	247	

	実績値	達成率(%)	達成状況
	300	105%	0
	64,871	105%	0
•	773	79%	×
	3,129	115%	0
	13,272	104%	0

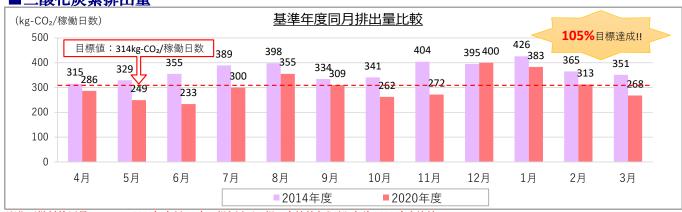
【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配

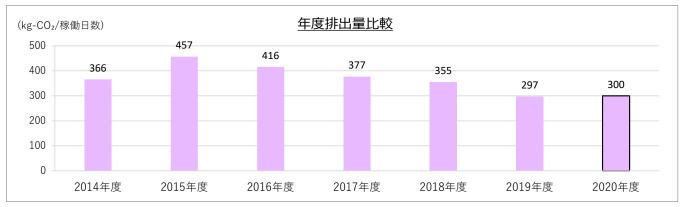
取組目標			活動項目	実施状況
		1	事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する	0
		2	食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	0
		3	空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)の徹底	0
(1)	電気使用量の1%削減	4	夏季における軽装(クールビズ)の推進	0
		5	電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う	0
		6	OA機器(パソコン)は省電力設定にする	0
		7	コンプレッサーのエアー漏れ点検	0
2	灯油使用量の1%削減	1	ドアや窓を開けっ放しにしない	Δ
٧	5.1	2	重ね着をする(ウォームビス推進)	0
②	ガソリン使用量の1%削減	1	エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する	0
3	<i>A / ソ ✔ </i>	2	配送(社用車)の無駄をなくす	0
4	軽油使用量の1%削減	1 エコドライブ等、運転方法の配慮を励行する		0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■二酸化炭素排出量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



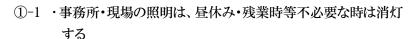
①電気使用量



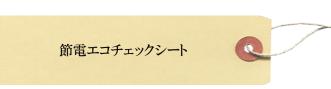


※2011年度は3か月分の電気使用量

◆取組項目

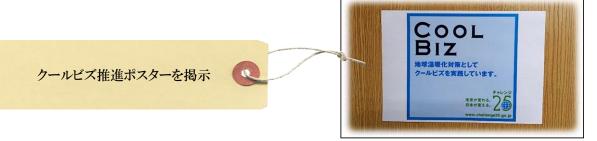


・食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する

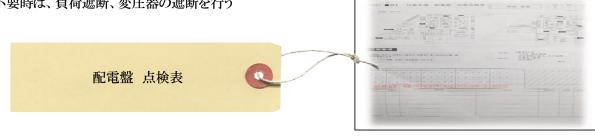




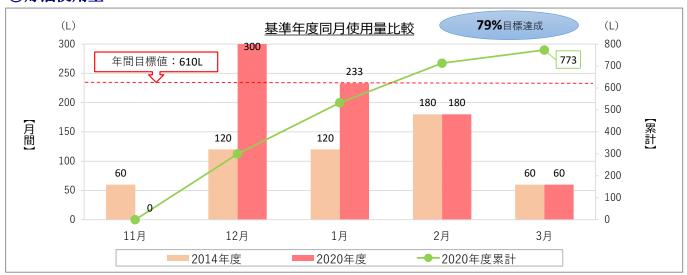
①-4・夏季における軽装(クールビズ)の推進

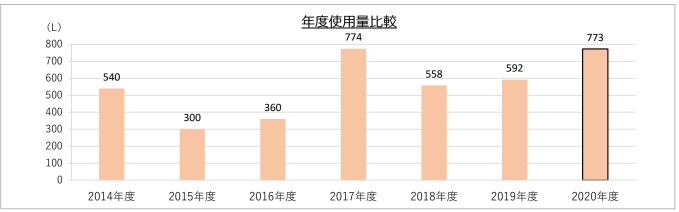


①-5 ・電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う



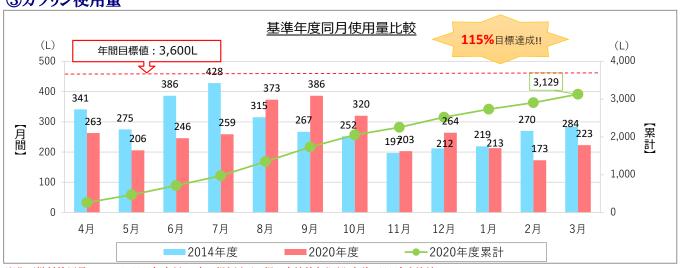
②灯油使用量





※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較

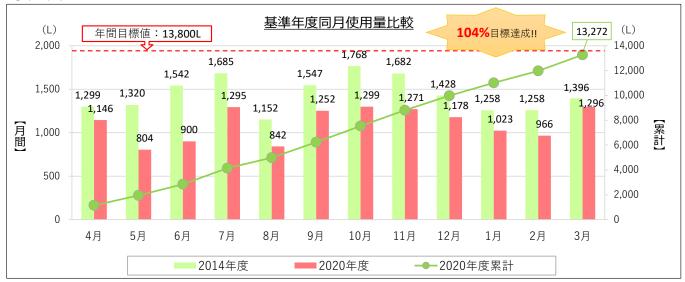
③ガソリン使用量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



④軽油使用量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



◆取組項目

③-1 ・エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する



◆取組結果の評価

判定

1. 目標値の見直し(電気使用量:年間予定出荷台数を基に算出、灯油・ガソリン・軽油使用量:実績を基に算出)

0

2. 灯油使用料のみ感染症予防の換気を行っていた為、年間を通して未達成

X

3. "②-1ドアや窓を開けっ放しにしない"について感染症予防の為、2時間おきに換気を行った

 \triangle

◆取組結果への対策

I ドアや窓を開けっ放しにしない

Ⅲ 重ね着をする(ウォームビス推進)

Ⅲ 温度計を設置し、休み時間に確認する

IV 灯油使用量の目標値を来期で実績を考慮したものに変更する

I.ドアや窓を開けっ放しにしない

対策:ドア開閉時にビニールカーテンの使用を徹底する



Ⅱ. 重ね着をする(ウォームビス推進)

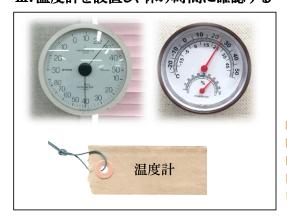
対策:ウォームビス推進ポスターを掲示

ウォームビズ推進ポスターを掲示





Ⅲ. 温度計を設置し、休み時間に確認する





川下工場

	項 目 目標の目安(指標)			
二酸化炭素排出量		329	kg-CO2/稼働日数	
1	電気使用量	143,353	kWh	
2	灯油使用量	1,800	L	
3	ガソリン使用量	1,100	L	
4	軽油使用量	3,000	L	
	稼働日数		247	

		<u> 11日・川 口洋</u>
実績値	達成率(%)	達成状況
347	95%	Δ
153,114	94%	×
2,141	84%	×
1,049	105%	0
2,754	109%	0

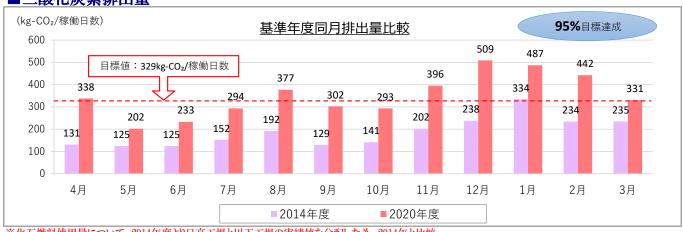
【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率 <95 *達成率=目安÷実績×100

※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配

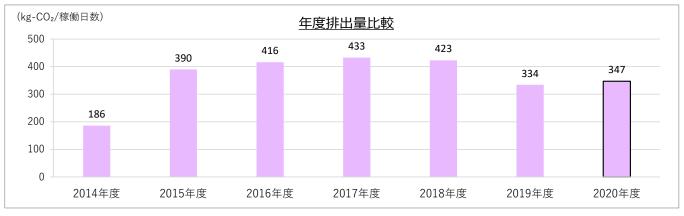
	取組目標		活動項目	
		1	事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯する	0
		2	食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	0
(1)	電気使用量の1%削減	3	夏季における軽装(クールビズ)の推進	0
		4	OA機器(パソコン)は省電力設定にする	0
		5	コンプレッサーのエアー漏れ点検	0
(2)	灯油使用量の1%削減 ──	ドアや窓を開けっ放しにしない	Δ	
		2	重ね着をする(ウォームビス推進)	0
(2)	ガソリン使用量の1%削減	1	エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する	0
3	ルノソン(実用重VJI % 門)減	2	配送(社用車)の無駄をなくす	0
4	軽油使用量の1%削減	1	エコドライブ等、運転方法の配慮を励行する	0

【実施状況の判定】 \bigcirc : 実行されている \triangle : 実行されているが十分でない \times : 実行されていない -: 判定できない、該当しない

■二酸化炭素排出量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



①電気使用量





※2011年度は3か月分の電気使用量

◆取組項目

①-1 •事務所・現場の照明は、昼休み・残業時等不必要な時は消灯 する

・食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する



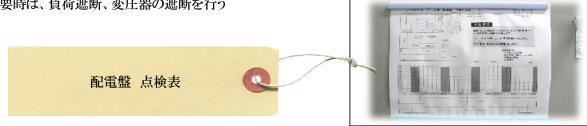


①-4・夏季における軽装(クールビズ)の推進

クールビズ推進ポスターを掲示



①-5 ・電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う



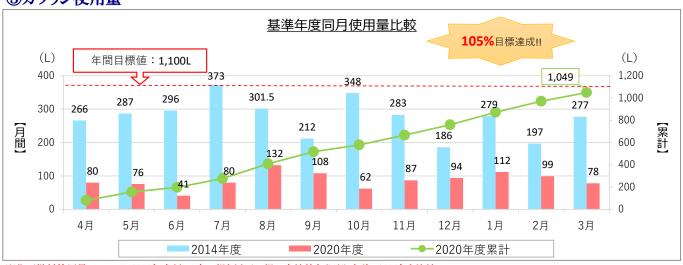
②灯油使用量





※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較

③ガソリン使用量



※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



④軽油使用量

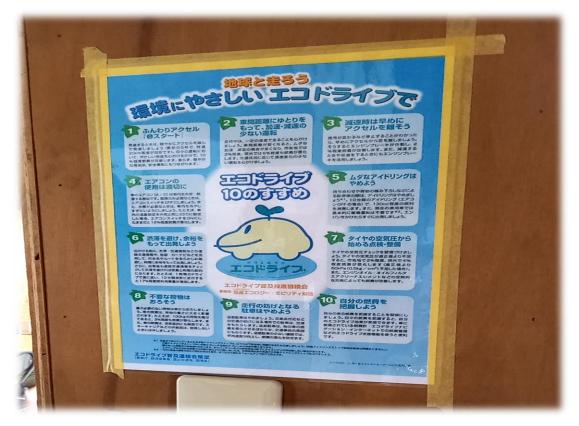


※化石燃料使用量について、2014年度より日高工場と川下工場の実績値を分配した為、2014年と比較



◆取組項目

③-1 ・エコドライブ等、運転方法の配慮を厳行する



◆**取組結果の評価** 判定

1. 目標値の見直し(電気使用量:年間予定出荷台数を基に算出、灯油・ガソリン・軽油使用量:実績を基に算出)

0

2. 電気使用量は昨年より着手していたマスクの生産に伴う裁断機の稼働と、感染症予防の換気により未達成

X

3. 灯油使用料のみ感染症予防の換気を行っていた為、年間を通して未達成

 \times

◆取組結果への対策

I ドアや窓を開けっ放しにしない

Ⅲ 重ね着をする(ウォームビス推進)

Ⅲ 温度計を設置し、休み時間に確認する

IV 灯油使用量については、来期で目標値を実績を考慮したものに変更する

I.ドアや窓を開けっ放しにしない

対策:ドア開閉時にビニールカーテンの使用を徹底する



Ⅱ. 重ね着をする(ウォームビス推進)

対策:ウォームビス推進ポスターを掲示

ウォームビズ推進ポスターを掲示





Ⅲ. 温度計を設置し、休み時間に確認する





2-1)産業廃棄物のリサイクル推進

本 社

責任者:坂入 担当者:江田

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
産業廃棄物リサイクル率	100 %	-	-	-
産業廃棄	物排出量(t)	-		

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 リサイクル率(100%)の推進	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	-

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

2-2)一般廃棄物排出量の1%削減

本 社

責任者:坂入 担当者:江田

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
一般廃棄物排出量		でウレタン部門を"やわらか製作所 ることが出来ない為、数値目標は		

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標		活動項目	実施状況
		1 活用できる裏紙の利用	0
1	一般廃棄物排出量の1%削減	2 両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する。重要書類は シュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する。	0
		3 使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルを行う	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

1 コピー用紙、郵便物の封筒、段ボール等を再利用出来た

判定

2 印刷の必要のないものはデータで共有するようにした (

◆取組結果への対策

Ⅰ 再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する

I. 再利用可能·不可能な用紙、封筒を分別する。

対策: 裏紙用回収ボックスを設置する。



2-1)産業廃棄物のリサイクル推進

日高工場

責任者:三坂GL 担当者:中野•諫山

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
産業廃棄物リサイクル率	100 %	100%	100%	0
産業廃棄	物排出量(t)	0.17		

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 リサイクル率(100%)の推進	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	-

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

2-2)一般廃棄物排出量の1%削減

日高工場

責任者:三坂GL 担当者:中野·諫山

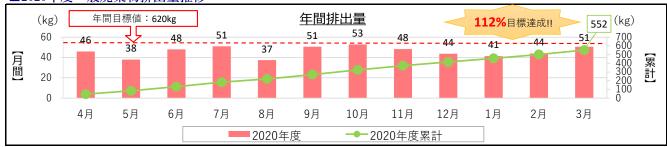
項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
一般廃棄物排出量	620 kg	552	112%	0

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標			活動項目	
		1	活用できる裏紙の利用	0
1		2	両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する。 重要書類は シュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する。	0
		3	発生したゴミは可能な限り、圧縮等を行い減量する	0
		4	会議用資料や事務手続書類の集約化及び電子化を行う	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■2020年度一般廃棄物排出量推移



◆取組結果の評価判定

古紙回収手順書

1 目標値を実績を基に見直したが、一般廃棄物排出量1%削減の目標を達成

2 用紙の再利用、会議の電子化

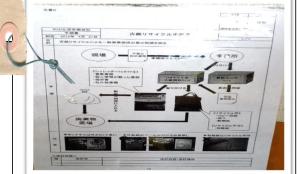
 \circ

◆取組結果への対策

I 再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する。

I. 再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する。 対策:裏紙用回収ボックスを設置する。





2-1)産業廃棄物のリサイクル推進

川下工場

責任者:福永 担当者:畑・古澤

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
産業廃棄物リサイクル率	100 %	100%	100%	0
産業廃棄	物排出量(t)	54.84		

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
1 リサイクル率(100%)の推進	マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

2-2)一般廃棄物排出量の1%削減

川下工場

責任者:福永 担当者:畑・古澤

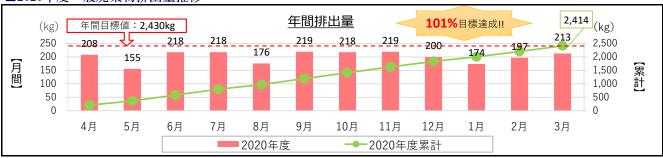
項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
一般廃棄物排出量	2,430 kg	2,414	101%	0

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標			活動項目	
		1	活用できる裏紙の利用	0
		2	使用済み封筒の再利用	0
1	一般廃棄物排出量の1%削減	3	両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する。重要書類は シュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する。	0
		4	使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルを行う	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■2020年度一般廃棄物排出量推移



◆取組結果の評価

判定

1 産業廃棄物のリサイクル率100%達成

2 目標値を実績を基に見直したが、一般廃棄物排出量1%削減の目標を達成

3 用紙の再利用、会議の電子化

◆取組結果への対策

再利用可能・不可能な用紙、封筒を分別する。

I.産業廃棄物の処理方法の確認を行う。

対策:マニュフェストを毎月確認する。



3)水使用量の現状維持

本 社

責任者:坂入 担当者:江田

取組目標	活動項目	実施状況
水使用量の現状維持	節水をする	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない \times :実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 節水を意識して取り組めた

0

◆取組結果への対策

I 節水ポスターを掲示する



日高工場

責任者:三坂GL 担当者:中野·諌山

項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
水使用量	400 m³	336	119%	0

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
水使用量の現状維持	1 検針票を見て、漏水のチェックを行う	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■基準年度同月使用量比較



◆取組結果の評価

判定

1 目標値を維持できた



◆取組結果への対策

I 節水ポスターを掲示する

川下工場

責任者:福永 担当者:畑・古澤

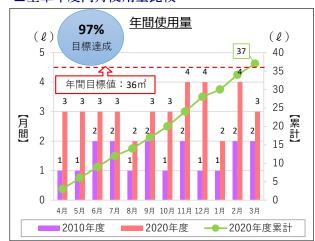
項目	目標の目安(指標)	実績値	達成率(%)	達成状況
水使用量	36 m ³	37	97%	Δ

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
水使用量の現状維持	1 水流し音発生器の使用によるトイレ用水の節水	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■基準年度同月使用量比較



◆取組結果の評価

判定

1 従業員の増加による影響があったが、年間を通して 目標達成 0

◆取組結果への対策

I水流し音発生器の設置



4)グリーン購入の推進

本 社

青仟者: 坂入 相当者: 汀田

取組目標	活動項目	実施状況
グリーン購入の推進	事務用品はエコ商品を購入する	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

日高工場

青任者:三坂GL 担当者:中野·諌山

取組目標	活動項目	実施状況
グリーン購入の推進	事務用品はエコ商品を購入する	0

【実施状況の判定】 \bigcirc : 実行されている \triangle : 実行されているが十分でない \times : 実行されていない -: 判定できない、該当しない

川下工場

責任者:福永 担当者:畑・古澤

取組目標	活動項目	実施状況
グリーン購入の推進	事務用品はエコ商品を購入する	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 社内規定を守り、購入できた

0

◆取組結果への対策

I 購入時、エコマークを確認する



5-1)工場周辺の清掃活動

本 社

責任者: 坂入 担当者: 江田

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
工場周辺清掃活動	月 1 回	毎月1回実施	83%	×

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
工場周辺の清掃活動を行う	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う	×

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■清掃活動の様子





◆取組結果の評価

判定

4月・5月は感染症拡大の為中止したが、側溝の草むしり等をやわらか製作所㈱の方と協力して取り組むことが出来た

0

◆取組結果への対策

I 少人数の為、場所を決めて取り組む

5-2)地域の活動に参加

本 社

責任者:坂入 担当者:江田

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
地域の活動に参加	ı	1	-	0

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
地域の活動に参加する	地域のボランティア活動に積極的に参加する	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 ペットボトルのキャップ、空き缶のプルタブの回収を行った

0

◆取組結果への対策

I |今取り組んでいるものは継続して行い、参加できそうな取り組みの情報収集をする

5-1)工場周辺の清掃活動

日高工場

責任者:三坂GL 担当者:中野·諌山

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
工場周辺清掃活動	月 1 回	毎月1回実施	83%	×

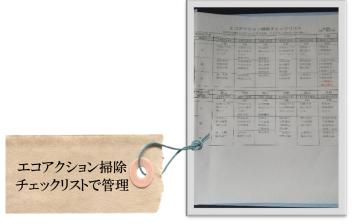
【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
工場周辺の清掃活動を行う	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う	×

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■清掃活動の様子





◆取組結果の評価

判定

1 4月・5月は感染症拡大の為中止したが、その後は新型コロナウイルス感染予防対策を取り、実施できた

 \circ

◆取組結果への対策

I 負担が掛からない様、人数を減らし班数を増やす等、班の見直しを行う

5-2)地域の活動に参加

日高工場

責任者:三坂GL 担当者:中野·諫山

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
地域の活動に参加	_	-	-	0

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
地域の活動に参加する	地域のボランティア活動に積極的に参加する	\triangleright

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 ペットボトルキャップの回収を継続出来た

0

◆取組結果への対策

I |今取り組んでいるものは継続して行い、参加できそうな取り組みの情報収集をする

5-1)工場周辺の清掃活動

川下工場

責任者:福永 担当者:畑・古澤

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
工場周辺清掃活動	月 1 回	毎月1回実施	83%	×

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
工場周辺の清掃活動を行う	月に1回、工場周辺の清掃活動を行う	×

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■清掃活動の様子



◆**取組結果の評価** 判定

1 4月・5月は新型コロナウイルス感染拡大の為中止したが、その後は毎月実施できた

0

◆取組結果への対策

I 人数が増えたので、範囲を広めても良いか検討する

5-2)地域の活動に参加

川下工場

責任者:福永 担当者:畑・古澤

項目	目標値	実績値	達成率(%)	達成状況
地域の活動に参加	-	1	1	0

【達成状況の判定】 ○:達成率≥100% △:100>達成率≥95 ×:達成率<95 *達成率=目安÷実績×100

取組目標	活動項目	実施状況
地域の活動に参加する	地域のボランティア活動に積極的に参加する	Δ

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

◆取組結果の評価

判定

1 ペットボトルキャップの回収・プルタブの回収は継続出来たが、会社として出来る事を見つけて参加したい

0

◆取組結果への対策

I | 今取り組んでいるものは継続して行い、参加できそうな取り組みの情報収集をする

5-2)地域の活動に参加

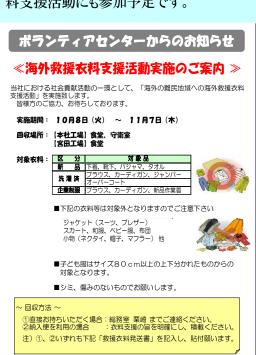
継続して実施している活動

I)収集活動に参加

取引先であるトヨタ紡織九州様がボランティア活動の一環として収集活動を行っていると伺い弊社でも参加をしています。

現在、事務所や休憩所等にペットボトルのキャップと缶の プルタブ回収BOXを設置し、収集活動を行っております。

また、トヨタ紡織九州様の春と夏に行われる海外救援衣料支援活動にも参加予定です。





今年度の新たな活動

I) 市役所へ非常食を寄付

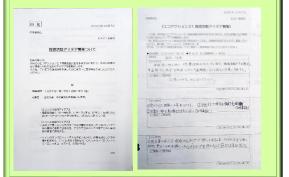
非常時用に備蓄していたカップ麵を寄付しました。





環境活動アイデア募集

従業員の方へ環境への取り組みについてのアイデア募集を行いました。



6)化学物質の適正管理

川下工場

弊社では、車両用シート製造の工程でスリプロン(有機溶剤)を使用致します。スリプロンにはPRTR対象となる次の2種の化学物質が含まれている為、使用量の把握と適正管理が必要となります。

≪スリプロンに含まれる対象の化学物質≫

①トルエン 第1種 227

②Nーヘキサン(ノルマル-ヘキサン) 第1種 392 110-54-3

責任者:福永 担当者:畑・古澤

取組目標	活動項目	実施状況
化学物質の適正管理	有害性の化学物質の適正管理を行う	0

【実施状況の判定】 ○:実行されている △:実行されているが十分でない ×:実行されていない -:判定できない、該当しない

■有機溶剤塗布場



◆取組結果の評価

判定

1 確実に化学物質の適正管理出来ている

0

◆取組結果への対策

有機溶剤の使用量を記録し、SDS(製品安全データシート)での管理を引き続き行う

6. 環境関連法規等の遵守状況

最終確認日:2021年6月21日

	該当する条項		海中华中
法律名等	対象設備、作業等	要求事項	遵守状況
	事業系一般廃棄物	委託基準の遵守	契約書を以って確認した。
		保管基準の遵守	掲示板を設置した。
		 許可業者への委託	 契約書を以って確認した。
	産業廃棄物 1.廃油 2.廃プラスチック 3.ガラス屑	委託基準の遵守	契約書を以って確認した。
廃棄物処理法	4.汚泥 5.その他ガレキ類	産業廃棄物 (排出者責任)	現地視察で確認した。
		管理票(マニフェスト票)の交付	記録で確認した。
		管理票(マニフェスト票)A票の保管	記録で確認した。
		管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	記録で確認した。
		管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	大分県廃棄物対策課へ2020年度分を 2021.6.24に提出済み。
	産業廃棄物の処理困難通知及び 虚偽記載時の対応(特別管理産業 廃棄物含む)	廃棄物の適正管理の確認、対応	該当なし
		投棄禁止(未遂を含む)	社員にヒアリングを行い、確認した。
	廃棄物全般 	焼却禁止(未遂を含む)	社員にヒアリングを行い、確認した。
毒物•劇物取締法	毒物又は劇物の取扱	保管管理 盗難, 漏洩の防止	チェックシートにて確認した。
労働安全衛生法	労働者	健康診断	年に1回(有機溶剤検査は年2回)健康診断を 行っている
	(1) 有機溶剤 トルエン第1種227 / N-ヘキ サン(ノルマル-ヘキサン)第1種	第1種又は第2種有機 溶剤に係る設備	
	392 110-54-3 (2)有機溶剤等 有機溶剤及び当該有機溶	掲示	現地で確認した。
	剤5wt%を超える含有物	種別区分の標示	
有機溶剤中毒	①第1種有機溶剤 クロロホルム等7種類	作業環境測定	記録で確認した。
予防規則	②第2種有機溶剤	保護具	
(労働安全衛生法 に基づく省令)	アセトン、トルエン、IPA スチレン等40種類 ③第3種有機溶剤 ガソリン等7種類 (3)有機溶剤業務 有機溶剤含有物を用いて 行う12種類の業務	貯蔵及び空容器の 処理	現地で確認した。
	(4)対象作業場所 ①屋内作業、通風が不十 分な場所など ②有機溶剤の製造又は 取り扱う業務		

■違反・訴訟等の有無環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。また、同様に利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

最終確認日:2021年6月21日

. 1 /4 5 55	該当する条項	— b+-+	遵守状況
法律名等	対象設備、作業等	要求事項	
	自動車の管理	自動車の所有者の責務	該当なし
白動車リサイクル注	再資源化等の実施	使用済自動車の引渡義務	該当なし
ロ幼牛ナティブル仏	リサイクル料の納付	再資源化預託金等の預託義務	該当なし
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器	簡易定期点検 	チェックシートにて確認した。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ(ブラウン管・液 晶・プラズマ)、冷蔵庫、冷凍庫、 洗濯機、衣類乾燥機	特定家庭用機器廃棄物の再商品化	該当なし
	定義		
		地域の指定	
	特定施設	条例による上乗せ規制基準	
騒音規制法	・コンプレッサー(原動機の定格出力が7.5キロワット以上のものに限	規制基準の遵守義務	日田市担当者に確認した結果、届出の必要無し。
	る)	特定施設の設置・の届出	
		特定施設の数等の変更の届出	
		氏名の変更等の届出	
		承継	
		規制基準の遵守義務	
	特定施設	特定施設の設置の届出	
振動規制法 ・コンプレッサー(原動機の定格出力が7.5キロワット以上のものに限る)	特定施設の変更の届出	日田市は指定地域外により適用除外。	
		氏名の変更等の届出	

■違反・訴訟等の有無環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。また、同様に利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

7. その他の活動



本社、日高工場は現場からの引火及び火災を想定、川下工場は川の氾濫を想定し訓練を実施致しました。

防災管理体制フロー

全体の指 防災管理 避難後 揮•重要判 リ―ダ-の点呼 通報連 通報•連 情報収集 絡 絡班 消防対 到着した消 初期消火等 防隊、警察 の現場対策 策班 官への協力 避難誘 従業員の避 負傷者有無 難誘導 の確認 導班

通報訓練

通報訓練では、別工場を消防署に見立てて、緊急時119通報マニュアルに基づき通報を行いました。消防署からの質問内容は状況によって変化する為、どの様な状況においても冷静に対応することの重要性を再認識しました。

避難訓練【火災訓練】

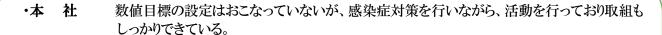
避難訓練では、第一発見者が通報連絡班に火災発生を伝達致しました。その後、通報連絡班は緊急構内放送を行い、緊急事態連絡表に従い連絡を行いました。消火対策班は、粉末消火器にて消火するふりを行い、避難誘導班は残留者が居ないか確認しながら、駐車場まで誘導致しました。

避難訓練【災害訓練】

災害訓練では、行政・民間より発表されている災害情報を確認し、 工場周辺及び施設内の異常確認を目視により行いました。代表取 締役(訓練の際は別工場)に連絡の後、事前に設定している設備持 ち出しリストにより担当者にて、最低限の設備を持ち出し、退避訓練 を行いました。



8. 環境責任者による2020年度の工場全体の評価



・**日髙工場** 2020年度より生産台数を基に電気使用量を算出し、実績値に近い目標値で管理できた。 感染症対策の影響もあり、来期は生活様式の変化に合わせていく必要がある。

・川下工場 日高工場と同様に、生産台数を基に電気使用量を算出し、管理を行った。感染症対策の 為、換気推進を行っており、来期も必須となる感染症対策を考慮することが必要。

9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し

①二酸化炭素排出量について

年間を通して日高工場は概ね問題なく目標を達成できている。電気使用量の目標値を生産台数を基に算出しているが、川下工場は目標未達成が続いている。日高工場・川下工場共に、感染症対策の換気の影響で灯油使用料が増加している。今後も換気は必須となる為、考慮した目標の設定が必要。

②産業廃棄物排出量について

川下工場でマニュフェストに基づく適正な処理が出来ている。日高工場でスポットの産廃が出ているが、適正に 処理されているので問題ない。

③一般廃棄物排出量について

2工場共に概ね目標を達成出来ている。川下工場は生産量の増減に影響を受けやすいので評価出来る。

④水使用量について

2工場共に概ね目標を達成出来ている。人数増減の影響があるので評価出来る。

⑤グリーン購入について

3工場共に社内基準のグリーン購入が出来ている。ルールが根付いていて評価出来る。

⑥工場周辺の清掃活動について

4月5月は新型コロナウイルス感染予防として清掃活動を中止している。夏季は熱中症対策も必要となるので、 無理のない範囲で実施してもらいたい。

⑦地域貢献活動について

例年通りペットボトルキャップ・プルタブの回収に引き続き取り組んでいる。2019年度3月より日田市からの依頼 で、布マスクの生産に着手し、また市役所に非常時用に備蓄していたカップ麺の寄付を行い、地域へ貢献出来 た事は評価できる。

■総括

毎月のエコアクション21の委員会資料の電子化を継続出来ていることが非常に良い。別の会議でも電子化を 進めており、継続していきたい。新型コロナウイルスの影響で例年通りの取り組みが難しいことろもあったが、感 染症対策を行い、無理のない様、継続してもらいたい。

■見直し及び来期以降の変更必要性の有無

	変更の必要性	指 示
環境経営方針	無し	今期と同様の内容にて継続する。
環境経営目標	無し	環境経営目標と経営計画に変更はないが、今後目標達成が難しいと思われる2工場の灯油使用量(感染症対策の換気により未達成となっている)の
環境経営計画		目標値見直しを行う。電気使用量については、業務量が大きく影響してくるので、前年の出荷台数を基準に引き続き毎年、目標値の設定を行う。
実施体制	無し	毎月の委員会は継続して開催されているので有効に機能していると思う。環境管理責任者及び委員会メンバーを変更したことで不慣れな面もあり、また新型コロナウイルスの影響で、例年の様な取り組みが難しいところもあった。 今後の心配もあるが、取り組みが自分たちの為、会社の為、地球の為という意識を持ってもらいたい。来期も全従業員に周知徹底して環境経営に取り組みたい。
その他環境経営システムの要素	無し	前年から市より依頼を頂いた布マスクの生産に着手し、地域の方に評価を 頂いた事も非常に良い。また2020年度には非常時用に備蓄していたカップ 麺の寄付を市役所へ行っており、来期ももっと地域のお役に立てるような活 動をして欲しい。火災訓練は、実際に火事が起きた時に怪我の無い様に、ま た自然災害等、具体的な想定をして行ってほしい。継続が大事なので、委 員会を中心に色々な環境活動にチャレンジして欲しい。

2021年5月13日

中山 化成有限会社 代表取締役 谷口 知幸

10. 次年度の取組



_								
					本年度	来年度	再来年度	
	環境経営目標	単位	工場	基準値	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	
					目標値	目標値	目標値	
			本社	同一建物内でウレ	タン部門を"やわ	らか製作所㈱"と	分社化し、	
			华红	環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う				
1	二酸化炭素排出量の	kg-CO2 /稼働日	日高	312.32	312.32	309.20	306.07	
1	削減	数	口向			(▲1%)	(▲2 %)	
			川下	358.46	358.46	354.88	351.29	
			<i>/</i> 11 F			(▲1%)	(▲2%)	
2-1	産業廃棄物のリサイク ル推進	%	全工場	100	 現在のリサイクル率 	5(100%)を維持		
			┵┵	同一建物内でウレ	タン部門を"やわ	らか製作所㈱"と	分社化し、	
	一般廃棄物排出量の 削減	kg	本社	環境負荷を分けることが出来ない為、数値目標は立てず活動を行う				
2-2			日高	620	614	608	601	
					(▲1%)	(▲2%)	(▲3%)	
			川下	2,430	2,406	2,381	2,357	
			711 15		(▲1%)	(▲2%)	(▲3%)	
		m³	本社	井戸水使用の為、	数値目標は立てず	活動を行う		
3	水使用量の現状維持		日高	400				
			川下	36	現状維持			
4	グリーン購入の推進		全工場	不明	社内規定に基づき	100%を目指す		
5-1	工場周辺の清掃活動	口	全工場	実績無し	月1回行う			
5-2	地域の活動に参加	旦	全工場	実績無し	地域の実態調査を行い、活動回数を把握して、数値目 標を定める			
6	化学物質の適正管理		日高	_	数値目標を立てず	、適正に管理する		
			川下	_				

- 注1)項目6について、本社は化学物質の使用が無い為、除外しております。
- 注2)項目1 二酸化炭素排出量削減において、2019年度より購入電力の排出係数は、0.462kg-CO2/kwh(2018年度 (株)エコア)を使用しております。
- 注3)項目1について、日高・川下工場の軽油使用量は、目標達成が続いた為、ガソリン使用量は対象車を変更した 為、2020年度に基準値を変更、灯油使用料は目標未達成が続いた為、2021年度に変更しております。
- 注4)項目1について、電気使用量は、昨年度の生産台数実績から1台当たりの電気使用量を算出し、今年度の予定台数に反映し、2020年度より毎年、基準値を変更します。
- 注5)項目2-2について、目標達成が続いた為、2020年度に基準値を変更しております。
- 注6)項目1、項目2-2について、ウレタン部門分社化の為、数値目標は立てず活動を行います。
- 注7)項目4について、グリーン購入に関する社内規定…「エコ商品と比較したときに価格が10%以上高くなる場合は、 エコ対象外商品を購入する。」

■2021年度の主な環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の1%削減

1.	取組目標		活動項目		
	電気使用量の1%削減	1	事務所、現場の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯する		
		2	食堂・トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する		
1		3	夏季における軽装(クールビズ)の推進		
1		4	電力不要時は、負荷遮断、変圧器の遮断を行う		
		5	OA機器(パソコン)は省電力設定にする		
		6	コンプレッサーのエアー漏れ点検		
9	灯油使用量の1%削減	1	感染症対策の換気以外、ドアや窓を開けっ放しにしない		
4		2	重ね着をする(ウォームビズ推進)		
2	ガソリン使用量の1%削減	1	エコドライブ等運転方法の配慮を励行する		
l o	A / ソマ 医川里VJ1 /0 門	2	配送(社用車)の無駄をなくす		
4	軽油使用量の1%削減	1	エコドライブ等運転方法の配慮を励行する		

2-1. 産業廃棄物のリサイクル推進

取組目標	活動項目
1 リサイクル率(100%)の維持	1 マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う

2-2. 一般廃棄物排出量の1%削減

_				
	取組目標			活動項目
			1	活用できる裏紙の利用
	1	一般廃棄物排出量の1%削減	2	両面使用済みのコピー用紙はリサイクル処理する 重要書類はシュレッダーにかけ、袋に入れてリサイクル処理する
			3	会議用資料や事務手続書類の集約化及び電子化を行う

3. 水使用量の現状維持

取組目標			活動項目
	水使用量の現状維持	1	節水をする

4. グリーン購入の推進

取組目標		活動項目		
	グリーン購入の推進	1 事務用品はエコマーク商品を購入する		

5-1. 工場周辺の清掃活動

取組目標	活動項目		
1 工場周辺の清掃活動を行う	1 月に1回、工場周辺の清掃活動を行う		

5-2. 地域の活動に参加

取組目標			活動項目
1	原屋の任務に住屋をとれます	地域の	ボランティア活動等に積極的に参加する
1	地域の沽動に積極的に参加する	ペットオ	讣ルのキャップ・空き缶のプルタブの回収

6. 化学物質の適正管理

ſ	取組目標	活動項目	
Į	<u> </u>	伯男垻日	
	1 化学物質の適正管理	1 有害性の化学物質の適正管理を行う	